

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	介護保険高額介護サービス事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれる街づくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名 緒方寿雄
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実	所属班	高齢者保険班	(内線) 2116
				法令根拠	介護保険法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
	30	2	4	1	10482			コスト削減優先度評価結果	-

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 12 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)  
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
介護保険対象サービスを利用したときに、自己負担額が一定の上限額を超えた場合に支払う。  
【業務の流れ】  
①毎月20日頃、高額介護対象者一覧データ(取込処理)を国保連より伝送受信。  
②対象者一覧中、新規又は未申請者に対し、勧奨通知。(決定者に死亡者がいた場合は家族に相続人申立書を送付)  
③翌月10日頃に新規申請者分を入力し、前月までの自動申請者と併せて国保連合会にデータ送信。  
④同月20日国保連合会より、判定結果受信、内容確認のうえ、対象者に決定通知書の送付。  
⑤翌々日第3本曜日支払に合わせた口座振込みデータを作成、差し引き事務を行う。  
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 支給件数 延べ4,347件 支給金額 市:48,409,823円 連合会:1,895,311円 計50,305,134円 支払いに伴う事務費 印刷製本費:34,125円 通信運搬費:240,000円 計274,125円	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 高額サービス対象件数 件 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 介護保険サービス利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 介護保険サービス利用者数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護サービス利用者負担の軽減を図る。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 高額介護サービス費の支払額 千円 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 介護サービス利用者の満足度 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移																		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	18年度 実績(決算)	11,750	19年度 実績(決算)	11,019	20年度 目標(当初予算)	10,502	20年度 実績(決算)	11,286	21年度 目標(当初予算)	11,262	22年度 (目標)	11,714	23年度 (予定)	12,183	全体計画 ~ 年度 総 ト ー タ ル コ ス ト の み 記 載
		都道府県支出金	千円	5,875	5,391	7,275	7,604	7,638	7,944	8,262								
		地方債	千円															
		その他	千円	23,500	21,331	24,223	25,157	25,061	26,067	27,111								
		繰入金	千円	5,875	5,391	6,275	6,532	0	0	0								
	一般財源	千円					6,762	7,033	7,315									
	(A) 事業費計	千円	47,000	43,132	48,275	50,579	50,723	52,758	54,871	0								
	うち指定経費	千円																
	うち時間外、特殊勤務手当	千円																
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	192	531	531	733	735	764	795									
	(B)人件費計	千円	762	2,113	2,113	2,917	2,925	3,041	3,164	0	0	0	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	47,762	45,245	50,388	53,496	53,648	55,799	58,035	0	0	0	0	0	0	0	0	
	活動指標	件	330	355	380	362	380	395	411									目 標 計 画 22 年 度
	対象指標	人	1200	1280	1330	1371	1410	1467	1526									
	成果指標	千円	47000	43132	48275	50305	50400	52422	54522									
	上位成果指標	%		69.7	80	69.7	80	80	80									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等  
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成12年4月1日制度発足と同時に事業を開始した。  
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
平成17年10月1日法改正に伴い、施設サービス利用者が負担軽減のため住所異動、世帯分離等の手続きを行ったことで高額の対象者が増加した。さらに平成18年4月1日法改正された所得段階の見直しにより、負担上限額が最も低い段階に移行した利用者が大幅に増加したことで、支給額が飛躍的に伸びている。また更なる介護サービスへの負担軽減のために、平成21年度から医療保険と介護保険の総負担額に限度額を設け、高額医療合算サービスが開始される。  
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
これまでは手続きが面倒であるとの指摘があったが、17年4月に1度の申請ですむようになったことから、申請漏れがほとんどなくなり事務手続きも簡素化された。

事務事業名	介護保険高額介護サービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の介護サービス利用者負担の軽減を図ることにより、結果の安心して介護支援が受けられることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 高齢者の介護サービス利用に係る支援として必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現在の事務処理を適切に行なうことにより、効果が得られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 法令に定められており、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似的な事業がないので統廃合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 高額を支給費が主な事業費なので、削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 手続きの改正により事務処理は簡素化されているが、対象者数が増加しているため、これ以上の削減は困難と考える
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 低所得対策として定められており、公平である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>法改正により支給対象者及び支給額が大幅に増加したことで、市の財政負担も大きくなっている。国が上限額の見直しを行わない限り、増加傾向に歯止めをかけるのは困難である。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現状どおり事務を執行していくことが重要である。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
-----------------------------------	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )